

2020 年
1 月号

NO.177



みんなでつくる子育てひろば

深川北みずべかわらばん



あけまして おめでとうございます。
今年も地域のみなさまと、「共に育て・共に育ちあう」
「深川北みずべ」でありたいと思います。
よろしくお願いいたします。



深川北“みずべ”スタッフ一同

新しい年を迎えました。ご家庭では、この年末年始をどのようにお過ごしになりましたでしょうか。ゆっくりとお正月を過ごされたかたも慌ただしく過ごされたかたもいらっしゃるでしょう。

さて、昨年末に毎週欠かさず楽しみにしていたドラマがありました。故郷の離島から上京して就職し夢をかなえるために同期の仲間と奮闘する 10 年間のドラマです。主人公は嘘のつけない真面目な性格で、かわいらしいチャーミングな女性です。ドラマの中で数々の困難が仲間や主人公に降りかかりますが、どんな状況でも信念を貫き、仲間と一緒に夢に向かってつき進んでいく姿は圧倒されるほどです。毎回ひとりひとりの人生の歩みが描かれていきますがどの人も一生懸命にそこに生きていくことが伝わってきて、ハンカチなしでは見る事ができませんでした。その中でも離島の祖父との Fax のやり取りでは送られてくる一つひとつの言葉が視聴者の私の心にぐっと染み込んでくる、あたたかで力強い言葉ばかりでした。

「辛い時こそ 自分の長所を見失うな」「大人になるとは自分の弱さを認めることだ」
仲間と共に歩みながら、成長していく主人公や仲間の姿に若かりし日の自分を重ねながら過去の自分からこれからの未来の自分へエールをもらったようでした。

今年も、みずべにいらしてくださる、たくさんのお母さんやお父さんやこどもたち、地域のボランティアさんと共に、こどもを育て育ちあいながら、あたたかなひろばを職員一丸となって目指していきたいと思います。今年もたくさんの方々の笑顔が溢れる一年となりますように。

山澤 美津子

ひろば通信

お母さんがお手洗いにいく間、お子さんをスタッフが預かりすることは、ひろばでよくあることです。先日そのような場面で、寂しくなって泣いてしまったお子さんをスタッフがあやしていると、あるお母さんが「大丈夫だよ、ママすぐ戻ってくるよ～」と声を掛けてくださいました。そしてその後、お母さんが戻ってきた時にも「ママが戻ってきてくれて良かったね」と、お子さんに優しい声掛けをしてくださいました。

スタッフだけでなく、ひろばにいるお母さん同士が子ども達を見守り合う優しい光景に、心がほっこりしました。そんなほっこりと心が温まるような光景がたくさん見られるひろばでありたいと思います。

(宮内 友紀)